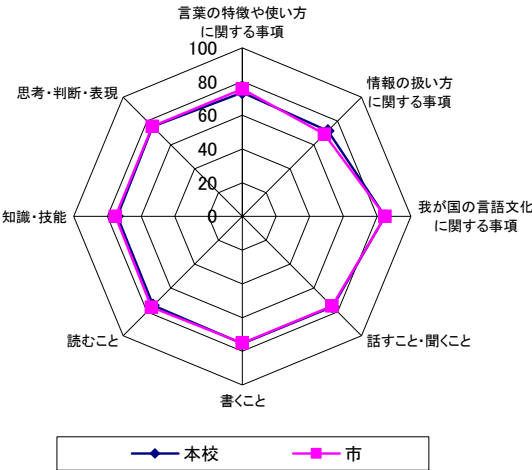


宇都宮市立城山中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 73.5 | 75.6 | 66.5 |
|     | 情報の扱い方に関する事項    | 71.8 | 69.0 | 62.0 |
|     | 我が国の言語文化に関する事項  | 84.6 | 84.7 | 78.2 |
|     | 話すこと・聞くこと       | 75.6 | 75.3 | 69.4 |
|     | 書くこと            | 75.5 | 75.2 | 65.1 |
|     | 読むこと            | 74.8 | 76.2 | 68.8 |
| 観点別 | 知識・技能           | 74.1 | 75.3 | 66.7 |
|     | 思考・判断・表現        | 75.2 | 75.6 | 67.3 |
|     |                 |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

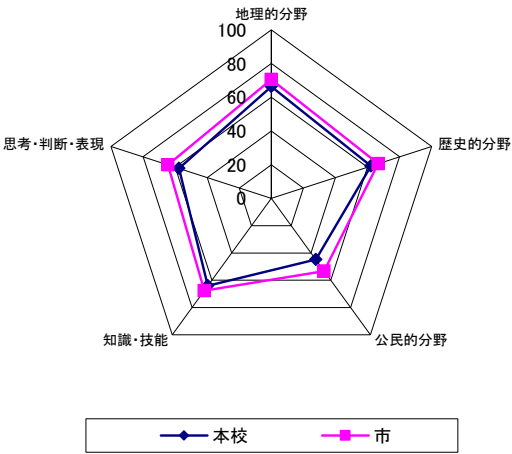
| 領域              | 本年度の状況                                                                                   | 今後の指導の重点                                                                                                   |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ○対義語に関する問題では市の正答率より2.0ポイント上回っている。<br>●市の正答率と比較すると2.1ポイント下回っている。                          | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・基礎的な文法や既習の漢字について復習やミニテストを行い、基本的な知識を確実に定着させる必要がある。                             |
| 情報の扱い方に関する事項    | ○市の正答率と比較すると2.8ポイント上回っている。<br>●情報と情報との関係について理解し、論理の展開を捉える問題では市の正答率と同ポイントである。             | ・情報と情報との関係を的確に捉えるため、調べ学習の際には調べるだけで終わりにせず、情報の関係性について考えさせる活動を取り入れる必要がある。                                     |
| 我が国の言語文化に関する事項  | ●現代語訳を手がかりに古典を読む問題では、市の正答率を0.1ポイント下回っている。<br>●市の正答率と比較すると0.1ポイント下回っている。                  | ・現代語訳を手がかりに、様々な古典作品に親しみ、作品の面白さや内容について理解を深める必要がある。                                                          |
| 話すこと・聞くこと       | ○話の展開を予想しながら話を聞く問題では、市の正答率を1.1ポイント上回っている。<br>●市の正答率と比較すると同ポイントである。                       | ・正しく言葉を聞き取り、適切な言葉を選びながらコミュニケーションをとれるよう、話し合い活動を積極的に取り入れる必要がある。                                              |
| 書くこと            | ○情報と情報との関係について理解し、自分の考えを分かりやすく伝える文章を書く問題では、市の正答率を5.8ポイント上回っている。<br>●市の正答率と比較すると同ポイントである。 | ・自分の考えを書いて表現することへの苦手意識をなくすため、授業の振り返りなどで書かせる内容を明確に示す必要がある。<br>・授業作りをする際にも、様々な形での書く活動を取り入れるようにする。            |
| 読むこと            | ●文章の表現の仕方について評価する問題では、市の正答率を3.6ポイント下回っている。<br>●市の正答率と比較すると1.4ポイント下回っている。                 | ・正しく文章を読み取るための語彙力をつけさせるため、事前の語句調べを入念に行い、語彙力を高める必要がある。<br>・主張や根拠を正しく読み解けるようになるため、文章の構成についての知識を身に付けさせる必要がある。 |

宇都宮市立城山中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 地理的分野    | 66.3 | 70.5 | 62.1 |
|     | 歴史的分野    | 62.1 | 66.6 | 57.8 |
|     | 公民的分野    | 44.9 | 53.3 | 45.2 |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 64.0 | 67.6 | 59.2 |
|     | 思考・判断・表現 | 57.6 | 64.5 | 55.7 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

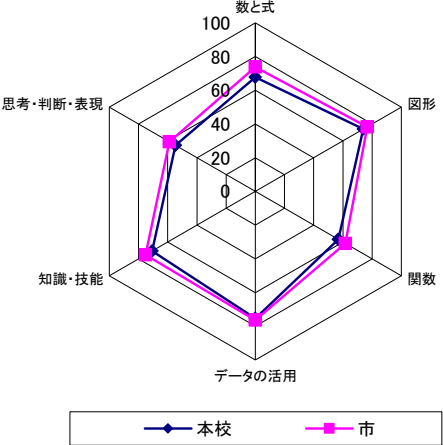
| 領域    | 本年度の状況                                                                                                                         | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地理的分野 | ●市の平均を4.2ポイント下回っている。<br>○世界の姿についての問題では、市の正答率よりも2.3ポイント上回っている。                                                                  | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・世界のさまざまな地域の学習においては、教科書や地図帳の地図やグラフ、写真などを十分に読み取らせながら、世界全体の特色を理解させる。<br>・日本のさまざまな地域の学習においては、日本の地域的特色を世界の地域の特色と比較させながら、景観写真や地図などを用いて、その特色を理解させる。 |
| 歴史的分野 | ●市の平均より4.5ポイント下回っている。<br>○鎌倉時代から室町時代までの歴史の流れについて考察する問題は、市の正答率を9.5ポイント上回っている。                                                   | ・歴史的分野の学習は、歴史の大きな流れや因果関係を捉えたり、歴史的な見方・考え方を習得し、現在の社会や未来の社会を考える学習であることを理解させる。<br>・歴史的事象の意味や意義、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりを、さまざまな視点から考察できるよう、実物資料や過去の映像等を用いていく。                      |
| 公民的分野 | ●市の平均を8.4ポイント下回っている。<br>●公共の福祉についての問題では、市の正答率を7.0ポイント下回っている。<br>●さまざまな新しい人権が認められるようになった背景について、考察し表現する問題では、市の正答率を7.4ポイント下回っている。 | ・公民の授業では、多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力や思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論させたりすることにより表現する力を養っていく。<br>・授業において、話し合い活動といった対話的活動を取り入れたり、さまざまな意見や考えが生まれる発問や課題を設定したりして、多様性を尊重する考えを育成していく。     |
|       |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                           |
|       |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                           |
|       |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                           |

宇都宮市立城山中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と式      | 67.8 | 73.8 | 71.4 |
|     | 図形       | 73.9 | 76.7 | 67.9 |
|     | 関数       | 56.9 | 61.6 | 52.2 |
|     | データの活用   | 75.3 | 76.4 | 65.4 |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 70.7 | 75.2 | 69.9 |
|     | 思考・判断・表現 | 54.6 | 58.9 | 48.3 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

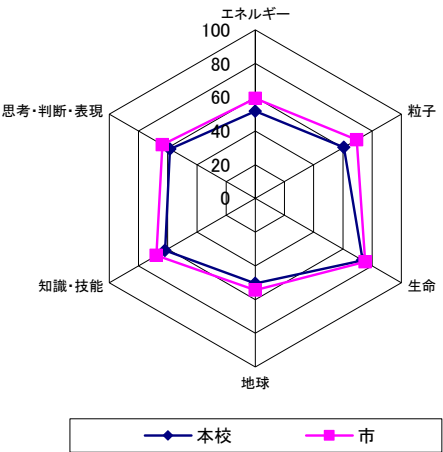
| 領域     | 本年度の状況                                                                                                                  | 今後の指導の重点                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と式    | ●市の正答率を6.0ポイント下回っている。<br>○正負の数の計算問題は、市の正答率を1.2ポイント上回った。<br>●乗法公式や2次方程式等の3年生の単元で、定着ができていない生徒が多い。                         | ・「数と式」の分野では、計算の過程を重視することと繰り返し計算問題を解くことで定着を図る。また、定期的に計算テストを行い、自分の定着度を確認させることで、動機づけを行っていく。       |
| 図形     | ●市の正答率を2.8ポイント下回っている。<br>○平行であること示す記号を示す問題では市の正答率を2.2ポイント上回っている。<br>●角の二等分線を作図する問題の正答率が低い。しかし、それ以外の問題では市の平均と大きな差は見られない。 | ・道具の使い方や道具のもつ意味の定着を図る。<br>・図形の単元を得意とする生徒がいるので、数学的な問題解決の良さを他の生徒に伝えられるように指導する。                   |
| 関数     | ●市の正答率を4.7ポイント下回っている。<br>●関数と図形の複合問題において、正答率が低い。1、2年生の単元については、おおむね満足な結果であるが3年生の単元で、正答率が低くなっている。                         | ・基礎的な知識の定着を図るとともに、関数の有用性を実感できるような指導する。<br>・これまでの学びが基礎となり、既習事項とのつながりをもっていることを強調して、苦手意識を取り除いていく。 |
| データの活用 | ○ヒストグラムの階級の度数、確率に関する問題では、正答率が市の平均を0.8ポイント上回っている。<br>●ヒストグラムの特徴を読み取り数学的に説明する問題では、正答率が市より4.7ポイント低い。                       | ・データの分析が生活のどのような場面で活用ができるかについて学習させる。<br>・データの分析には様々な方法があり、情報過多な社会において有用なデータを見極める基礎になることを指導する。  |
|        |                                                                                                                         |                                                                                                |
|        |                                                                                                                         |                                                                                                |

宇都宮市立城山中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | エネルギー    | 51.8 | 59.3 | 62.1 |
|     | 粒子       | 60.7 | 69.5 | 66.8 |
|     | 生命       | 73.5 | 75.2 | 70.9 |
|     | 地球       | 50.4 | 54.4 | 52.0 |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 61.8 | 67.7 | 67.2 |
|     | 思考・判断・表現 | 58.5 | 63.7 | 60.8 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

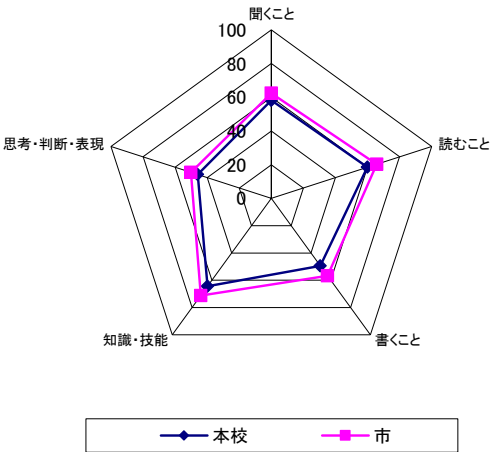
| 領域    | 本年度の状況                                                                                                                                                                    | 今後の指導の重点                                                                                                                 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エネルギー | ○物体の運動の思考問題は、市の正答率を00.9ポイント上回った。<br>●光の性質である乱反射についての問題の正答率は、市の正答率を18.0ポイント下回った。また、物体の運動の実験から台車の平均を求める問題の正答率は、市の正答率を13.6ポイント下回った。                                          | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・光の性質の理解や作図の方法については、基礎的な知識と作図の練習問題を行うことで定着を図る。<br>・物体の運動の実験から台車の平均を求める問題について練習問題を行うことで定着を図る。 |
| 粒子    | ○物質の成り立ちに関する思考問題は、市の正答率を2.8ポイント上回った。また水溶液とイオンの知識問題の正答率は、市の正答率を1.2ポイント上回った。<br>●酸化銀の分解で発生した物質の性質を調べる方法を指摘する問題は、市の正答率を24.8ポイント下回った。<br>●化学反応式の記述の仕方の問題は、市の正答率を20.6ポイント下回った。 | ・実験結果の内容を確認し、結果を正しく理解する指導を行う。<br>・化学反応式での表し方については、を繰り返し練習することで定着を図る。                                                     |
| 生命    | ○ドクダミとタンポポの生える条件を推測する問題は、市の正答率より2.9ポイント上回った。また、生物の成長とふえ方の思考問題も市の正答率より6.4ポイント上回った。<br>●タンポポの根の作りを理解する問題は、市の正答率より6.8ポイント下回った。<br>●生物の成長とふえ方の減数分裂の理解については、市の正答率を6.1ポイント下回った。 | ・植物の分類については復習テストを実施して知識の定着を図る。<br>・遺伝や生物の増え方についても復習テストを実施して知識の定着を図る。                                                     |
| 地球    | ○火山の形とマグマや火山噴出物の特徴と関係を問う問題は、市の正答率を0.9ポイント上回った。また、大気圧が関係している現象を問う問題は市の正答率より1.7ポイント上回った。<br>●大気圧を求める問題は、市の正答率より8.4ポイント下回った。また、火山の深成岩のでき方を説明する問題は、市の正答率より7.2ポイント下回った。        | ・大気圧を求める計算方法については、繰り返し練習問題を解くことで知識の定着を図る。<br>・火成岩のでき方については、復習テストを実施して知識の定着を図る。                                           |
|       |                                                                                                                                                                           |                                                                                                                          |
|       |                                                                                                                                                                           |                                                                                                                          |

宇都宮市立城山中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 聞くこと     | 58.2 | 62.4 | 59.8 |
|     | 読むこと     | 59.9 | 65.7 | 58.5 |
|     | 書くこと     | 49.4 | 56.8 | 43.5 |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 64.4 | 71.2 | 65.3 |
|     | 思考・判断・表現 | 45.9 | 50.1 | 40.6 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域   | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                                                        | 今後の指導の重点                                                                                                                                                      |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 聞くこと | <ul style="list-style-type: none"><li>●市の正答率より4.2ポイント下回っている。</li><li>●日常的な話題について聞き、要点を捉える問題では市の平均よりも7.6ポイント下回っている。</li><li>○英文を聞いて、孫愛用に合う絵を選ぶ問題では、市の正答率よりも1.4ポイント上回っている。</li><li>○対話を聞き、その概要を捉えて、適切に応答する問題では、市の正答率よりも2.2ポイント上回っている。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・英文を聞いて、その概要や要点を捉えることができるように、話の展開を捉えながら聞くように指導する。</li><li>・音読を引き続き多く取り入れ、英語の音に関する指導を行い、理解を深める。</li></ul>                |
| 読むこと | <ul style="list-style-type: none"><li>●市の正答率より5.8ポイント下回っている。</li><li>●メールを読み、その内容を理解する問題では、市の正答率よりも3.1ポイント下回っている。</li><li>○対話文の情報を読み取り、その内容を理解する問題では、校内正答率が88.5ポイントと高い数値である。</li><li>○ポスターを読み、必要な情報を読み取る問題では、市の平均よりも2.7ポイント高い。</li></ul>      | <ul style="list-style-type: none"><li>・英文を読んで、段落ごとの要点や概要を捉えられるよう、文章の展開や注目すべき表現の指導を行う。</li><li>・短い文章から徐々に長くしていき、長い英文に少しずつ慣れるように指導し、粘り強く英語を読む力の定着を図る。</li></ul> |
| 書くこと | <ul style="list-style-type: none"><li>●市の正答率よりも7.4ポイント下回っている。</li><li>●文の語順を理解し、正確に書く問題では、市の正答率よりも3.7ポイント下回っている。</li><li>○学校の制服について、自分の考えに対する理由や説明を相手に伝えるように書く問題では、正答率が50.0ポイントで、半分の生徒が正解できた。</li></ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"><li>・英語と日本語の語順の違いを理解し、英語の基本的な語順が身につくように、簡単な英文を通して指導を繰り返して行うことで定着を図る。</li><li>・基本的な文法事項を繰り返し復習することで定着させ、表現力を伸ばす。</li></ul>   |
|      |                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                               |
|      |                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                               |
|      |                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                               |

## 宇都宮市立城山中学校

### 学力向上に向けた学校全体での取組

#### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                    | 取組の具体的な内容                                                                                                | 取組に関わる調査結果                                                                                                             |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 | 各教科で話し合い活動等(1人1台端末活用も含む)を積極的に取り入れ、言語活動の質的向上を目指す。生徒が他者と交流して課題解決にあたるのを、一人一人の学びを見取り、じっくりと取り組んでいくように適切に支援する。 | 「グループなどでの話し合いに進んで参加している」の肯定的回答は全学年市の平均を上回っている。<br>「パソコンを使って考えや調べたことを伝えることができる」の肯定的割合は全学年、市の平均を上回っている。                  |
| 学習目標の明確化と、定着のための振り返りの充実   | 授業の目標を明示し、課題の設定や発問の仕方を工夫したり、振り返りを充実させ、課題解決への意欲を持たせる。                                                     | 1・2年生は「学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習に生かしている」の肯定的回答が市の平均を下回り、3年生は上回っている。「テストで間違えた問題は、もう一度やり直している」の肯定的回答も同じ結果である。 |

#### ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・授業への取り組みや学習に対する気持ちや態度については、2・3年生はほとんどの項目で市の平均を上回っている。しかし、3年生の学力調査においてそれぞれの教科での正答率は市の平均を下回っている。
- ・「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」の項目は2・3年生は市の平均よりも上回り、家庭学習の習慣化は改善されているが、基礎学力は定着できていない現状である。振り返りを充実させる授業の改善を引き続き工夫しながら、授業での復習内容の理解を深め、家庭学習において定着を図りたい。